

付加仕様

付加仕様				
/A1, /A2, /A3, /A4, /A5	アラーム出力リレー	出力点数	2, 4, 6, 12*, 24*点より選択 * DX2000のみ	
/C2, /C3	シリアル通信	媒体	EIA RS-232C(/C2)またはRS-422A/485(4線式)(/C3)準拠	
		実装プロトコル	専用プロトコルまたはModbus (マスタスレーブ) プロトコル	
		設定/測定サーバ機能	本体のキー操作相当の操作, および設定 測定データなどの出力	
		Modbusマスタスレーブ機能	Modbusプロトコルを用い, 他の機器の測定データなどの読み書きが可能* *データの読み込みには演算オプション(/M1)または拡張チャンネルオプション(/MC1)が必要	
/D5	VGA出力	解像度	640x480ドット(VGA仕様)	
		コネクタ	D-SUBミニ15ピン	
/F1	FAILステータス出力リレー		DXのCPU異常時またはいずれかの選択された状態(要因)を検出し, リレー出力を行う	
/F2 (DX2000のみ)	FAIL+アラーム出力リレー 22点		FAILステータス出力リレーオプション機能とアラーム出力リレー22点出力機能の組み合わせ	
/H2	押し締め入力端子		入力端子部を押し締め入力端子(着脱式)とする	
/H5M, /H5*	デスクトップタイプ		携帯用ハンドルと電源コード付 */H5は24VDC/AC電源仕様のみで, 電源コードなし	
/M1	演算機能	演算チャンネル数	DX1000	DX1002, DX1004: 12チャンネル DX1006, DX1012: 24チャンネル
			DX2000	DX2004, DX2008: 12チャンネル DX2010, DX2020, DX2030, DX2040, DX2048: 60チャンネル
		演算式文字数	最大120文字	
		演算種類	汎用演算, 統計演算, 特殊演算, 条件式	
		定数	60個までの定数を設定可 (K01~K60)	
		レポート種類	時報, 日報, 時報+日報, 日報+週報, 日報+月報	
		レポート演算種類	レポート演算種類を平均値, 最大値, 最小値, 積算値, 瞬時値から4種類から選択可能	
		/N1	Cu10, Cu25測温抵抗体入力/3線式絶縁RTD入力	
/N2	3線式絶縁RTD入力		RTD(測温抵抗体)のA, B, b端子全て絶縁した各点絶縁入力タイプ 注) DX1006, DX1012, DX2010, DX2020, DX2030, DX2040, DX2048のみ指定可	
/N3	拡張入力	TC	Kp vs Au7Fe, PLATINEL, PR40-20, NiNiMo, WWre26, TypeN(AWG14)	
		RTD	Pt25, Pt50, Ni100(SAMA), Ni100(DIN), Ni120, J263 *B, Cu53, Cu100	
/P1	24VDC/AC電源駆動	定格電源電圧	24VDCまたは24VAC (50/60Hz)	
		使用電源電圧範囲	21.6~26.4VDC/AC	
		最大消費電力	DX1000 28VA (24VDC), 45VA (24VAC(50/60Hz)) DX2000 45VA (24VDC), 70VA (24VAC(50/60Hz))	
/R1	リモート制御		接点入力によりDX本体の制御が可能(8点まで設定可)	
/TPS2*, /TPS4, /TPS8*	24VDC/AC伝送器電源出力		/TPS2: 2ループ, /TPS4: 4ループ, /TPS8: 8ループ */TPS2はDX1000のみ, /TPS8はDX2000のみ	
		出力電圧	22.8~25.2VDC (定格負荷電流時)	
		定格出力電流	4~20mADC	
		最大出力電流	25mADC (過電流保護動作電流約: 68mADC)	
/KB1, /KB2	簡易入力		/KB1:リモコン付き, /KB2:リモコンなし /KB1指定時は, リモートコントロールユニット(438227)が1台付属	
		本体組み合わせ仕様	個別操作台数 最大操作距離	
		個別操作台数	ID設定にて最大32台 DXの受光部正面約8m以下(リモコンの電池残量, 外来光等の使用環境により変動します)	
/USB1	USBインターフェース	USBインターフェース機能	Rev1.1準拠, ホスト機能	
		ポート数	ポート(前面, 背面)	
		接続可能デバイス	キーボード 外部メディア バーコードリーダー	
		キーボード	USB HID Class Ver.1.1準拠の104/89キーボード(US), 109/89キーボード(Japanese)	
/PM1	パルス入力	入力点数	3ch(ただし, リモート制御入力端子をパルス入力に使用した場合は最大8ch) 注)パルス入力オプションには, 演算機能オプション(/M1)およびリモート制御オプション(/R1)	
		入力方式	フォトプリアインレーション(パルス入力内で共通) アインレーション/電源内蔵(約5V)	
		入力種類	無電圧接点, オープンコレクタ(TTLまたはトランジスタ)	
/CC1	入力値補正機能	折れ線設定点数	2~16点	
/MC1 (DX2000のみ)	拡張チャンネル機能	拡張チャンネル数	240チャンネル(チャンネル番号: 201~440) 注1) DX2010, DX2020, DX2030, DX2040, DX2048のみ指定可 注2) 拡張チャンネルオプション装着時は, 測定周期「高速モード」は使用不可	
/BT2	マルチタッチ機能	マルチタッチ数	DX1000	2~6 (DX1006, DX1012のみ)
			DX2000	2~12 (DX2010, DX2020, DX2030, DX2040, DX2048のみ)
/CP1	PROFIBUS-DP機能	通信入力チャンネルデータへの書き込み	DX1000: 最大24ch DX2000: 最大32ch	
		ノードアドレス設定可能範囲	0~125	
		インターフェース	PROFIBUS-DP-V0 Slave	
		伝送媒体	専用ケーブル2線(信号系2本)	
		伝送速度/伝送距離	9.6kbps/1200m ~ 12Mbps/100m	
		終端抵抗	内蔵せず(外部での終端必要)	
/AS1	拡張セキュリティ機能	データファイル改ざん防止機能	設定ファイルおよび測定データファイルは, 暗号化されたバイナリデータファイルとなる	
		データ種類	表示またはイベントのみ イベントデータ/トリガモード不可	
		ログイン機能	ユーザ名, パスワード, ユーザID(設定による)のログイン機能により, 機器へのセキュリティ設定が可能	
		ユーザレベルおよびユーザ数	システム管理者レベル: 5ユーザ(全ての操作が可能) 一般ユーザレベル: 90ユーザ(ユーザ制限設定により, 実行できる操作, サインイン権限を設定可能) ユーザ制限設定: 10種類(一般ユーザに対して)	
		パスワード有効期限	Off, 1ヶ月, 3ヶ月, 6ヶ月から選択	
		パスワード管理機能	Kerberos認証サーバによるログイン認証機能(ユーザ名とパスワードのみ) * Windows Server2003/Windows Server2008 ActiveDirectoryにて動作確認済 暗号化方式 Pre-Auth機能	
		暗号化方式	AES128-CTS-HMAC-SHA1-96 AES256-CTS-HMAC-SHA1-96 ARCFOUR-HMAC-MD5	
		Pre-Auth機能	あり	
		サインイン機能	記録が終了したデータを確認後, 3レベルで電子署名, パスフェイルの選択およびコメント(最大半角32文字)の記入が可能	
		監査証跡機能	操作ログ, 設定変更ログ, およびその時の設定ファイルが保存される	
		個別アラームACK機能	個別アラームに対し, アラーム表示およびリレー出力の解除が可能	
		アラームディレイ時間拡張	アラームディレイ時間を最長24時間まで設定可能	